

2019年度

就職動向と支援

就職環境の変化

企業の採用意欲は依然として高く、2020年3月卒業予定学生の新卒求人倍率（リクルートワークス研究所調べ）は1.83倍（昨年1.88倍）となり、昨年より微減したものの引き続き高水準を維持しています。ただ、人気の高い企業群や特定の職種では依然採用の基準は高く、学生にとって厳選採用となっています。

来年度の対象となる2021年3月卒業予定者の就職活動のスケジュールについては、政府および大学側より、今年度と同様に求人情報の公開時期は大学3年生の3月、採用選考時期は大学4年生の6月のスケジュールを企業側に遵守するように要請しています。しかしながら、近年の企業の採用選考は前述のスケジュールに沿わない早期化の傾向にあり、3月より前に行われるインターンシップと称したセミナーから選考が始まるケースなど、就活生が混乱する一因となっております。本学では早期化のスケジュールにも学生が対応できるよう、キャリア支援イベントの実施時期やガイダンスの内容を適正に変更しながら、学生への意識付けの徹底を実施した結果、今年度も多くの学生から良い結果報告を受けることができています。

一方で、ここ数年本学の学生に限らない傾向ですが、複数の内定を得る学生となかなか内定を獲得することができない学生との差が大きくなっていると感じることも多く、今後も引き続いて全学生に対して、準備の大切さを伝えていきたいと考えております。

学生が内定を獲得するためには、「(基礎力+専門力)×職業的態度×就職活動力」を高めることが必要であると本学のキャリア関連の担当者で共有しています。これは低学年時から面接や応募書類作成、筆記試験対策などの「就職活動力」を高める対策を行うということではありません。低学年時にはキャリアの意識を高める内容の授業やガイダンスを行い、「基礎力」を高める授業や課外活動への取り組みの重要性、インターンシップへの積極的な参加の効果を伝えます。また、学年が上がってからは全員が研究室に配属される本学の強みを生かし「専門力」を高めることを意識するように伝えています。就職活動を迎える時期には、就職指導の専門家が設計した「就職活動力」を高めるプログラムを多数開催し、そのプログラムに積極的に参加することで良い結果につながっています。

また、ここ最近の一つの特徴として社会からはグローバル化へ対応できる人材の育成を求める声が強まっています。海外インターンシップの推進や英会話力を高める支援をはじめとするグローバル化への対応も一層進めております。

前述の通り、来年度の2021年3月卒業生の採用選考時期は今年度と同様となりますが、国内外の経済や政治の変動による環境の変化の可能性は高まっていると思います。学生が変化に戸惑い、不利益を被らないように本学としても十分に対策をしていきます。保護者の皆様からも学生への直接的、また情報提供などの間接的なご支援も一層賜りますようお願いいたします。

本学の取組

従来の就職支援業務の枠を超えて、キャリア全般に関わる幅広く充実したサービスを提供する「キャリア支援センター」を各キャンパスに設置しています。

各キャンパスのキャリア支援センターには専門の相談員が常駐し、就職の相談のみならず、職業選択や進学など、将来の進路についての確かなアドバイスを受けることができます。常駐しているスタッフの多くがキャリアカウンセラーの有資格者であり、キャリアに関することはどんなことでも安心して相談をする環境ができています。卒業生や先輩学生による密度の濃い情報をはじめ、各社の求人、公務員、Uターン、就職活動支援サービス会社の各種資料なども豊富に提供しています。

また、各学科では就職担当教員がキャリア支援センターと連携して強力に学生をバックアップし、学科の強みや特徴を活かして、一人ひとりのニーズにあった支援を展開しています。就職支援行事は学内で実施するものだけで延べ100回以上にのぼり、徹底してキャリアについて考える機会をつくっています。更に本学の前身である武蔵工業大学時代からの強みである「社会で活躍する卒業生」のご協力を得て、学部・学科ごとに企業・業界セミナーや相談会を実施するなど、充実した支援体制を整えています。

もちろん就職に関する個別相談も充実しており、カウンセラーによる面接指導や履歴書添削だけでなく、自己分析等のサポートも積極的にを行い、基礎から応用まで、幅広い支援をしています。

それ以外にも、本学の学生を指定して寄せられる独自の求人だけを検索出来るシステムなどにより、内定獲得を目指す学生を強力に支援しています。

2019年度の状況

今年度（2020年3月卒対象）の就職状況は、文部科学省発表の2019年12月時点での国公私立大学の平均内定率は「87.1%」となりました。本学では12月時点で学部生でも8割を超え、大学院生では9割近い内定率となっております。人間科学部の保育業界志望者は、これからが選考のピークを迎えることを考えましても、全国平均に比べて十分健闘をしておりますが、本学としましては、まだ活動を継続している学生に対しての支援は最優先と認識しております。これからも学内での企業セミナーや継続して求人をしていく企業の情報を収集し一層の就職活動の支援を実施してまいります。これからの時期、「モチベーションの維持」「活動を続ける姿勢」が重要なポイントとなります。

最後に

学生の進路に関する意識が多様化し、変化の大きな就職環境に対応すべく、今後ますますキャリア支援業務に注力してまいりますので、引き続き保護者の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。